



利根中央病院だより

# きらめき



第61号  
2021年 秋号

発行責任者 利根中央病院 病院長  
編集責任者 利根中央病院 事務長  
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1  
TEL：0278-22-4321（代表）  
FAX：0278-22-4393  
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

## 腎臓内科の紹介

腎臓内科は、現在は私1名のみで、いわゆる1人医長体制で診療を担当しています。ただし、透析診療に関しては、関原院長に協力していただき、また、一般腎臓外来（水・金曜）および透析外来（土曜）に群馬大学医学部附属病院腎臓リウマチ内科から外来応援を受けています。マンパワーが豊富とは言えませんが、様々な方に協力をいただきながら、利根沼田地域において腎臓診療を行っております。

腎臓診療に関しては、慢性腎臓病に対する診療が大部分を占めます。慢性腎臓病は、原因にかかわらず3ヶ月以上続く腎機能低下をきたす全ての腎臓病のことをいい、慢性腎不全とほぼ同義になります。

腎臓内科科長 岡部 智史



現在日本には慢性腎臓病の患者は1300万人以上いると推計され、日本人の10人に1人以上がこの病気に罹患していることとなります。慢性腎臓病が進行することで、心筋梗塞や脳血管障害のリスクが非常に高くなります。また、最終的に、末期腎不全に至れば、血液透析が必要になります。

一方で、急性腎不全でも血液浄化療法を施行することがありますが、バイタルサインや全身状態が不安定ゆえに、通常の血液透析が施行しにくいことも多いです。そういった場合に適応となる血液浄化療法である、持続的血液濾過透析を施行できる多

用途血液処理用装置を、当院でも2018年1月に導入し、症例毎に応じて少しずつ施行を開始しています。

今後も、利根沼田地域の腎臓診療の需要に応えられるよう、努力したいと思います。



腎臓内科の患者を担当する5B病棟チーム

### 認知症ケアチームの紹介

認知症看護認定看護師 鹿野亜莉紗

急激な高齢化に伴い、認知症を発症する方の数は今後ますます増加していくことが予測されます。当院でも年々認知症の方の入院数が増加しています。認知症の方が入院した場合、普段の日常生活から「入院」という慣れない環境で治療を受けなければなりません。身体の不調に加え、慣れない環境の中で治療を受けるため、日頃できていたことができなくなったり、日常生活との違いに混乱し不安を感じてしまうことがあります。認知症ケアでは、認知症の方が抱える身体の苦痛や心の辛さを理解し寄り添い、安心して治療が受けられることが大切です。

認知症ケアチームでは、認知症による症状により身体疾患の治療が円滑に進まない恐れがある患者さんに対し、認知症の悪化を予防し、安心、安全に入



院生活を送れるようにすることを目的としています。毎週火曜日に多職種のメンバーと各病棟をラウンドし、カンファレンスを行っています。メンバー構成は、医師、認知症看護認定看護師、病棟看護師、社会福祉士、リハビリスタッフ、管理栄養士です。ラウンドでは、様々な原因で入院した認知症を有する患者さんや、その患者さんに関わるスタッフへのサポートを行っています。病棟スタッフと協力してより良い入院生活を送れるよう、ケアの方法、環境調整、薬剤投与などについて提案をしています。また、カンファレンスでは、多職種が多角的視点で様々な意見を出し合い、その人に合ったケアを提供できるよう協議しています。認知症の方が安心して、その人らしく入院生活を送ることができるよう、多職種と協力してケアを行っていきます。



認知症ケアチーム

## 栄養食事指導の紹介

栄養管理室長 林 和代

栄養食事指導とは、疾病の進展防止、回復・予後などの過程における治療の土台の役割を担い、患者さん一人一人の生活環境や生活リズム、仕事などのライフスタイルに応じた、実行しやすく継続できる食事改善の方法についてアドバイスすることを目的としています。指導内容としては、糖尿病・高血圧・脂質異常症・心臓病・腎臓病など生活習慣病の疾病治療の食事療法や、胃などの消化器の術後の食事、摂食嚥下機能が低下した方やがんなどで食欲低下した方への食事の摂り方のアドバイスなど様々です。

当院では【外来】【入院】【集団】の栄養食事指導を行っています。

外来栄養食事指導は、医師の診察日に併せて行います。患者さんと一緒に当日の採血結果を確認し、療養生活を振り返りながら、実践内容を考えます。外来栄養食事指導は継続して実施しており、管理栄養士との会話を楽しみに来院する方も多くいます。

入院栄養食事指導は、退院後の療養生活に繋げるためのアドバイスを心掛けています。退院前には家族も一緒に行い、慢性疾患（糖尿病・心臓病・腎臓



病など）の患者は退院後の外来栄養食事指導を継続しています

集団栄養食事指導は、入院されている患者対象の糖尿病教室や減塩教室を行っています。

日本糖尿病療養指導士の資格を持つ管理栄養士が6名在籍しています。増加傾向にある糖尿病患者のセルフケアの支援に努めています。

当院と連携している地域の医療機関にかかりつけの患者を対象とした「連携栄養食事指導」も実施しています。食事療法でお困りの方はご相談ください。



管理栄養士一同

## 総合診療科でのSDH/SDGsを学び 理解するためのカリキュラム

医局事務課 初期研修担当  
原澤 美里

病態生物学的な多彩性だけでなく、心理社会背景においても多彩性に富んだ症例を扱う総合診療科において、地域に住む患者様の生活実態を理解することは重要だと考えています。農業と観光産業を生業とする方が多い利根沼田において、川場村の一般社団法人WASAWASA様、かたしな高原スキー場様に協力いただき、「SDH/SDGs※を学び理解するカリキュラム」を策定しました。

4泊5日の泊まり込みでの研修期間で、田畑での農作業や就労体験、地域住民との交流を通じ、生活や労働と疾病の関係性を理解することを目的としています。

参加した研修医からは、「農家の方は、毎日様々



ねぎ畑の肥料まき



研修最終日は体験研修関係者を対象とした  
口頭発表会を行いました。

な作業がある中で、多少体の不調を感じても、無理して働き続けるケースもあるのでは」、「入院患者さんを



紅花摘み

診ていても、生活環境がよくわからず退院後ことが気がかりだった。地域包括支援センターのサポートが手厚く驚いた」といった感想が出されました。

facebookにて体験内容と感想をまとめたプレゼン動画を掲載しております。ぜひご覧ください。

※ SDH (Social Determinants of Health : 健康の社会的決定要因)、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)



●利根中央病院 研修センター  
facebook ページ  
アカウントをお持ちの方はぜひ「いいね!」をお願いします。  
臨床研修の様子をリアルタイムでお届けします。

### 新任医師紹介



総合診療科 医員  
加藤 昭彦

10月から総合診療科でお世話になります。患者様の訴え一つ一つに真摯に対応していくことを心がけます。至らない点もあるかと存じますが、地域の医療に貢献できるよう努力いたします。よろしく願いいたします。

(群馬大学総合診療専門研修プログラム 専攻医  
在籍期間：2021年10月1日～2022年3月31日)